(2022.12)
(情報公開文章用)

作成日 2026 年 6 月 18 日
第 1.2 版作成

2023 年 9 月 1 日～2025 年 12 月 31 日の間に当院に入院された方及びご家族の方

―「高齢者の転倒・転落と栄養素の関連調査」へのご協力のお願い―

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者　川崎医科大学　認知症学　講師　秋山　真樹
研究分担者　川崎医科大学　認知症学　教授　和田　健二

１．研究の概要

転倒・転落は高齢者の生命予後と機能予後に大きな負の影響を及ぼします。近年血中ビタミンD濃度と身体バランス機能に有意な相関があり、ビタミンD製剤による介入で転倒は抑制されることが報告されました。しかし、ビタミンD以外の栄養素について転倒との関連については十分な検討が行われていません。

本研究は川崎医科大学高齢者医療センターに入院されていた方を対象に高齢者の転倒・転落イベントおよび転倒・転落リスクと栄養素の間に関連があるかを調査します。

２．研究の方法

1）研究対象者

2023 年 9 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日の間に川崎医科大学高齢者医療センターへ入院された方

2）研究期間

西暦 2025 年 2 月 10 日 ～　西暦 2027 年 3 月 31 日

3）研究方法

上記の研究対象期間に当院に入院された方の診療録（カルテ）もとに研究者が関連するデータを選び分析を行います。

4）使用する情報の種類

転倒･転落の有無、年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、既往疾患、簡易栄養状態評価表(Mini Nutritional Assessment）の点数、転倒・転落リスク評価、採血結果（血色素量,総蛋白,アルブミン,コリンエステラーゼ,総コレステロール,鉄,フェリチン,ビタミン B1,ビタミン B12,ビタミン C,葉酸,銅,亜鉛）等

5 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学高齢者医療センター医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6）研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。 また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。 この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。 この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026 年 12 月 31 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

＜問い合わせ・連絡先＞

川崎医科大学高齢者医療センター
氏名：秋山　真樹
〒700－0821 岡山県岡山市北区中山下二丁目 1 番 80 号
TEL：086-225-2112 内線：48049　（平日 8 時 30 分～17 時）

３．資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。